

今月のこの1冊

ポインセチアは まほうの花
ジョアンヌ・オッペンハイム 著
ポインセチアはクリスマスを代表する植物として親しまれています。では、どうしてポインセチアはクリスマスの花になったのでしょうか。メキシコのクリスマスの話には、ピニャータが買えず、ポサダのお祝いにも行けないファニータの奇跡の物語があります。このお話が、独特な色使いと幻想的な絵で絵本になりました。見返しのポインセチアは、とても鮮やかで印象に残ります。



新しく購入した図書（主なもの）

- ★ 一般書 ★
- 「夏目家順路」 朝倉かすみ
 - 「ボディ・メッセージ」 安萬純一
 - 「灰色の虹」 貫井徳郎
 - 「オラクル・ナイト」 ポール・オースター
 - 「呼んでみただけ」 安東みきえ
 - 「世界を救う7人の日本人」 池上彰
 - 「通りゃんせ」 宇江佐真理
- ★ 児童書 ★
- 「すうじだいぼうけん」 宮下すずか
 - 「けんけんのケン」 山下明生
 - 「ベンジーのもうふ」 ドロシー・マリノ
 - 「まどれーぬちゃんとまほうのおかし」 小川糸
 - 「ワニあなほこぼる」 石井聖岳

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

- ◇子どもの広場『クリスマス会』
内容 「クリスマスリースづくり」と「クリスマスのおはなし会」
日時 12月11日(土)10:00～11:30
場所 町民センター2階 中会議室A
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221
- ◇おはなし会（第2土曜日、第3水曜日）
日時 12月11日(土) 12月15日(水)15:00～
こどもの広場でおはなし会をします
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

我が家のペット紹介

No. 76

小島ラブちゃん（上島）
Mダックス メス 9歳

甘えん坊です。



ペットのふんは飼い主さんが責任を持って持ち帰らしましょう！

ご自宅のペットを紹介しませんか？
募集中です。詳しくは自治活動応援課まで。
☎ 84-0315

芝田 みち子 選

*文芸

- 開成町俳句協会 俳句 ともしび短歌会 短歌 十月詠

何故だろう人生にもう疲れたと
言ひつつ空腹満たすわれなり
櫻井 夏実

曾祖母の長寿にあやかる吾が名なり
等しき 齢で思ふ 親心
石井 はま江

熱帯夜つづく今宵も 玻璃戸開け
眠りにつかむ月眺めつつ
府川 ハツエ

暮れ泥む山河冬めく終の里
波多野 すみ枝

天地の息吸ひこみて式部の実
冬立つや立ち食い蕎麦のいいきれ
冬めくや猫の背中の丸くなり
自転車を止めてしばらく返り花
遠藤 まつ子

鳥海 訓子
遠藤 美津子
瀬戸 悦子
遠藤 まつ子

この地を終の住処と決めて久しい。暮れそうて暮れない山や河も、少しづつ冬めいてきた。迫りくる暮色の中に終の里へのいとろしが表白されている。

作者は、ご長命であられた曾祖母にあやかって命名されたという。今、曾祖母の年齢に達したのを機に「両親が深き愛情と願いを込め名付けてくれたお陰だ」と改めて思い、感謝の意を表した歌。

この歌は、熱帯夜が続いている中、せめて優雅で快適な眠りにつきたいと、三句目以下の実践の様を詠んでいる。「今宵も」の言葉の持つ重さと役割、「はりど」の響き、結句の余韻も心地良い。

近藤 正臣 選



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



宝永山の噴火と開成町



富士山噴火の地層剥ぎ取り標本(瀬戸屋敷・土蔵)

一七〇七(宝永四)年十二月十六日(現代暦)、足柄平野は早朝から震度三程度の地震と、障子が揺れる空振が続きました。お昼前には白い軽石が、夕方には黒い砂がザーザーと音を立て降ってきましたが、テレビもラジオもありませんから、何が起きたのかわからず不安でいっぱいでした。夜になり、はじめて富士山が爆発し火山灰が降ってきたことがわかりました。左側中腹の現在コブがある所からの噴火を眼で確認できたのです。

最近の研究で、同じ年の十月二十八日に起きた東海・東南海の同時多発の巨大地震(M8.4)が引き金になり富士山噴火に至ったとされています。

噴火は翌年の一月一日午前四時まで続き、開成町には、三十五cm位の砂が積もり農作物は全滅しました。さらに、上流の山々に積もった砂が雨のたびに酒匂川に流れ出し、大口から金井島にかけて六mも積りました。翌年の雨期に大口土手が決壊し、平野は水びたしになり二十年近く苦難の日々が続きました。

富士山の噴火を物語る遺跡として、瀬戸屋敷の土蔵に「富士山噴火の地層剥ぎ取り標本」三体(南小学校と瀬戸屋敷を常設しています。ぜひ、ご覧になってください。

(文責 足柄の歴史再発見クラブ 大脇 良夫)

※お子さんも読めるようにふりがなを付けています。



駐在所 だより 「年末の事故防止運動」が実施されます

12月11日(土)～20日(月)の10日間、「年末の事故防止運動」が実施されます。

年末は、交通量や飲酒の増加などで交通事故が多発することから、一人一人が交通安全について考えようことで、交通事故防止の徹底を図ります。

重点項目

- ① 飲酒運転の根絶
「少し飲むだけなら大丈夫」「短い距離だから」...そんな軽い気持ちでハンドルを握った結果、取り返しのできない事態を招いてしまうかもしれません。飲酒運転の代償の大きさを知ってからは手遅れです。「のんだら のるな」「のるなら のむな」を徹底しましょう。
 - ② 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の事故防止
夕暮れ時には、早めのライト点灯を心がけましょう。特に自転車の無灯火運転は危険です。自分の存在を知らせるためにも、必ずライトを点灯しましょう。
 - ③ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
後部座席でのシートベルトやチャイルドシートの必要性について正しく理解し、正しい着用を徹底しましょう。
- スローガン
「無事故で年末 笑顔で新年」

松田警察署
延沢駐在所 ☎83-5434
吉田島駐在所 ☎83-5457